

報告

平成 30 年度第 2 回
横浜市公共事業評価委員会
平成 30 年 11 月 13 日(火)
横 浜 市

意見具申に対する対応報告について

【平成 29 年度 道路－ 1】再評価

主要地方道横浜上麻生（佐江戸その 2 地区）

道路改良事業

市道川和第 170 号線 外（山王前地区）

道路改良事業

（道路局）

事業評価に係る意見具申に対する対応報告

報告年度	平成30年度	番号	平成29年度 道路-1	再評価
事業名	主要地方道横浜上麻生（佐江戸その2地区）道路改良事業 市道川和第170号線外（山王前地区）道路改良事業			
意見具申	平成29年度意見具申 可能な限り早期に事業を完了するため、事業の進め方を抜本的に検討すること。			
【報告】 意見具申に に対する対応	<p>当該事業区間については、これまで、強制的な用地取得ではなく、地権者と良好な信頼関係を築きながら進めており、残りの用地の早期取得に向け、事業への理解が得られるよう、より丁寧に対応していきたいと考えております。また、全ての用地取得を待つことなく、取得できた用地から先行して工事を進めることで早期完了を目指します。</p> <p>このため、今年度から事業担当を4人体制に増員して、きめ細やかな対応となるよう取り組んでいます。これにより、地元調整や警察協議が進み、130m区間について先行して工事を進めることができています。さらに、用地取得についても3件の内諾を得ることができています。</p> <p>今後も、執行体制を確保し、残りの地権者への丁寧な対応を行うことで、事業の早期完成につながるよう努めてまいります。</p>			
事業担当局課	都筑区都筑土木事務所			

※添付資料：確定した評価調書

(様式3)

公共事業再評価調査

番 号	道路-1	事業担当局課	都筑区	都筑土木事務所	
事業名	主要地方道横浜上麻生（佐江戸その2地区）道路改良事業 市道川和第170号線 外（山王前地区）道路改良事業		採択年度	平成10年度 平成19年度	
施工場所	都筑区佐江戸町		経過年数	20年 11年	
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>主要地方道横浜上麻生（佐江戸その2地区）は中山駅や川和町駅方面と大型商業施設や緑産業道路を結ぶバス路線です。市道川和第170号線 外（山王前地区）は中山駅方面と港北ニュータウン方面を結ぶバス路線です。2路線とも道路幅員は6～7mと狭く、朝夕を中心に蕪根交差点で交通渋滞が発生しています。また、都田西小学校の通学路に指定されていますが、歩道のない箇所があり、危険な状況となっています。</p> <p>本事業により、車道の拡幅、右折レーンの設置による交通環境の改善及び両側歩道の設置による歩行者の安全確保を図ります。</p> <p>なお、平成19年度に主要地方道横浜上麻生（佐江戸その2地区）の事業再評価を行い、平成24年度には、市道川和第170号線 外とあわせ1事業として事業再評価を行いました。</p> <p>事業概要</p> <p>主要地方道横浜上麻生（佐江戸その2地区） 延長420m、幅員12～18m（車道7～13m、歩道2.5m×2）</p> <p>市道川和第170号線外（山王前地区） 延長300m、幅員18m（車道10m、歩道4m×2）</p>				
			当初(事業採択時) 主要地方道横浜上麻生(佐江戸その2地区)	変更(平成27年度)	
	事業期間		平成10年度～平成14年度	平成10年度～平成31年度	
	事業費	合 計		502百万円	1,359百万円
		国 費		—	708百万円
		市 費		502百万円	651百万円
	変更内容	横浜上麻生線(佐江戸その2地区)で現道とのすりつけを考慮し事業区間を延伸するとともに、歩行者の安全性をより確保するため、交差点部の歩行者溜まりを広げ、用地取得範囲を追加しました。また、用地交渉に時間を要しているため、事業期間を変更しています。			
	上位計画等	横浜市中期4か年計画 2014～2017 の施策 28「市民に身近なきめ細かい交通機能等の充実」の中で、「歩行者の安全確保や地域の利便性向上」として、「バス路線などにおける道路の改良など、市民の利便性の向上に資する道路改良を推進します。」としています。			
関連事業	市道川和第170号線 外(山王前地区)の山王前交差点北側の主要地方道丸子中山茅ヶ崎が平成21年度に整備を完了しています。 また、都田中学校入口交差点の整備が平成26年度に都市計画道路羽沢池辺線の整備と合わせ完了しています。				
事業の必要性	この地区は、工場移転に伴う開発などが進み、平成19年に大型商業施設「ららぽーと横浜」が開業し、平成20年に市営地下鉄川和町駅が整備され、人口が増加しています。 横浜環状北西線が東京2020オリンピック・パラリンピックまでの開通を目指して建設されており、今後一層の開発が見込まれる中で、歩道設置による歩行者の安全性の確保が地元から強く求められています。				

事業の投資効果・事業効果等 (費用便益分析等)			事業全体		残事業	
	割引率		4% (2%)			
	総便益 (B)		23.2 億円 (33.7 億円)		23.2 億円 (33.7 億円)	
	総費用 (C)		14.8 億円 (12.8 億円)		6.3 億円 (6.4 億円)	
	費用便益比 (B/C)		1.6 (2.6)		3.7 (5.3)	
	感度分析 [交通量-10%]		1.1 (1.8)		2.5 (3.6)	
<p>車道の拡幅、右折レーンの設置を行うことで、交通環境の改善が図られ、バスの定時性が確保されることで、バス利用者の利便性が向上します。また、両側歩道を設置することにより歩行者の安全性が確保されます。</p>						
事業の進捗状況	事業進捗率%		<p>地元やスクールゾーン・防犯対策協議会から通学路の安全対策として歩道設置・歩道拡幅が強く要望されており、取得した用地については暫定的に歩道を設置・拡幅整備しています。</p> <p>平成 29 年に主要地方道横浜上麻生(佐江戸その 2 地区)の用地取得を行い、平成 30 年度に山王前交差点の線形改良・歩道拡幅工事を予定しています。平成 30 年度までに用地取得を終え、平成 31 年度までに工事完了予定です。</p>			
	47%					
	用地取得率%					
	52%					
	供用等の状況					
92m						
事業の課題及び進捗見込み	<p>地権者との交渉を進めていましたが、移転先の確保や補償内容について、理解を得ることに時間を要しておりました。</p> <p>主要地方道横浜上麻生(佐江戸その 2 地区)については、一部の地権者から理解が得られたため、平成 29 年度、平成 30 年度に用地取得予定です。</p> <p>市道川和第 170 号線 外(山王前地区)については、関係者の理解が得られ、平成 30 年度に山王前交差点の線形改良・歩道拡幅工事を予定しています。</p> <p>2路線とも引き続き用地交渉を進め、平成 30 年度までに用地取得を終え、平成 31 年度までに工事完了予定です。</p>					
その他 (コスト削減項目等)	<p>工事中の仮設道路の切り回しを最小限に抑えること、舗装や構造物の基礎などの材料に再生材を使用するなど、施工コストの縮減に努めます。</p>					
その他	特になし					
添付資料	有・無					
対応方針 (案)	継続	計画通り(上記計画を実施)※1				
		一部見直し(上記計画を変更)※2				
	【見直し内容】					
中止						

対応方針 (案)とした理由	<p>藪根交差点は朝夕を中心に渋滞が発生し、路線バスの円滑な通行に支障をきたしており、また、主要地方道横浜上麻生は歩道のない箇所が通学路になっており危険な状態です。バスなどの車両交通の円滑化及び歩行者の安全確保のために、事業を継続する必要があると判断しています。</p>
------------------	---

※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

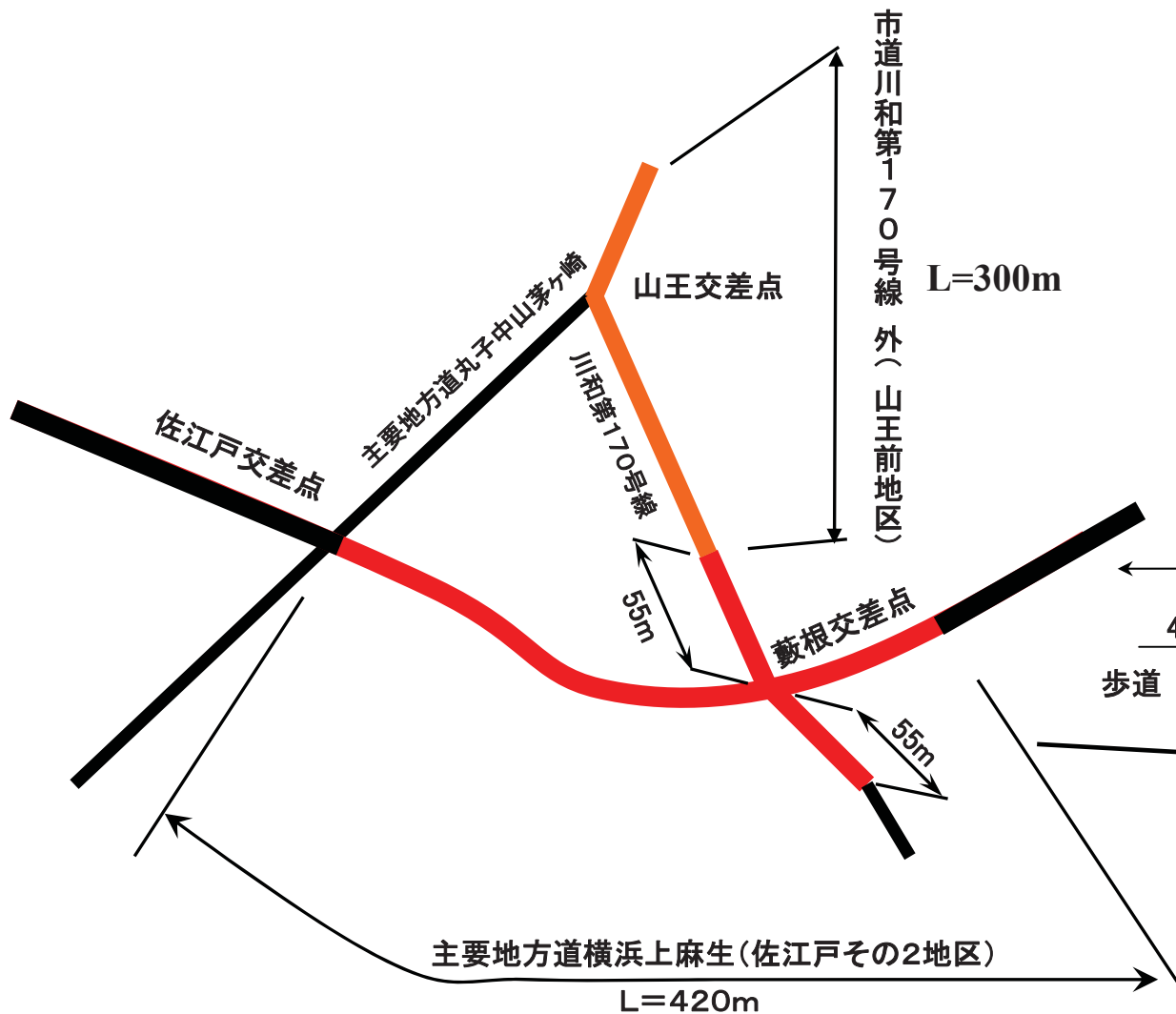
※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。

主要地方道横浜上麻生(佐江戸その2地区)・市道川和第170号線 外(山王前地区) 案内図

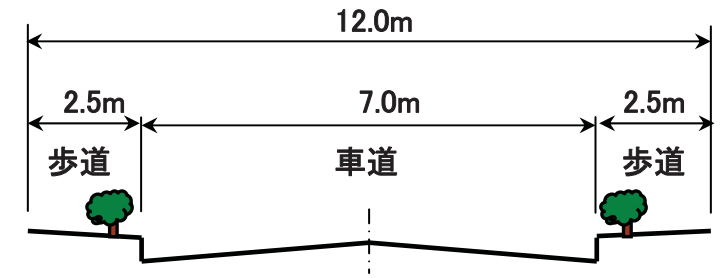


凡例	
主要地方道横浜上麻生 佐江戸その2地区	—
市道川和第170号線 外 山王前地区	—
国道	—
主要地方道	—

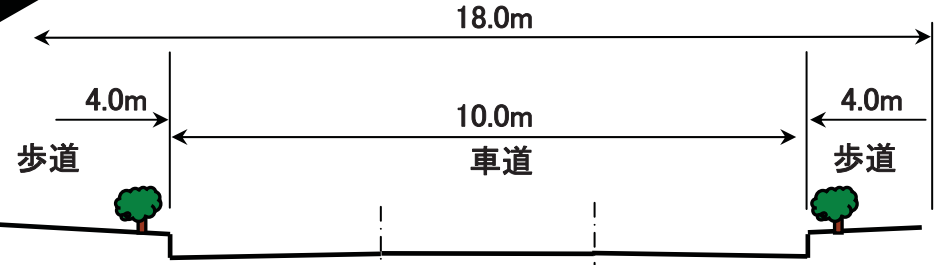
・主要地方道横浜上麻生(佐江戸その2地区)・市道川和第170号線 外(山王前地区)



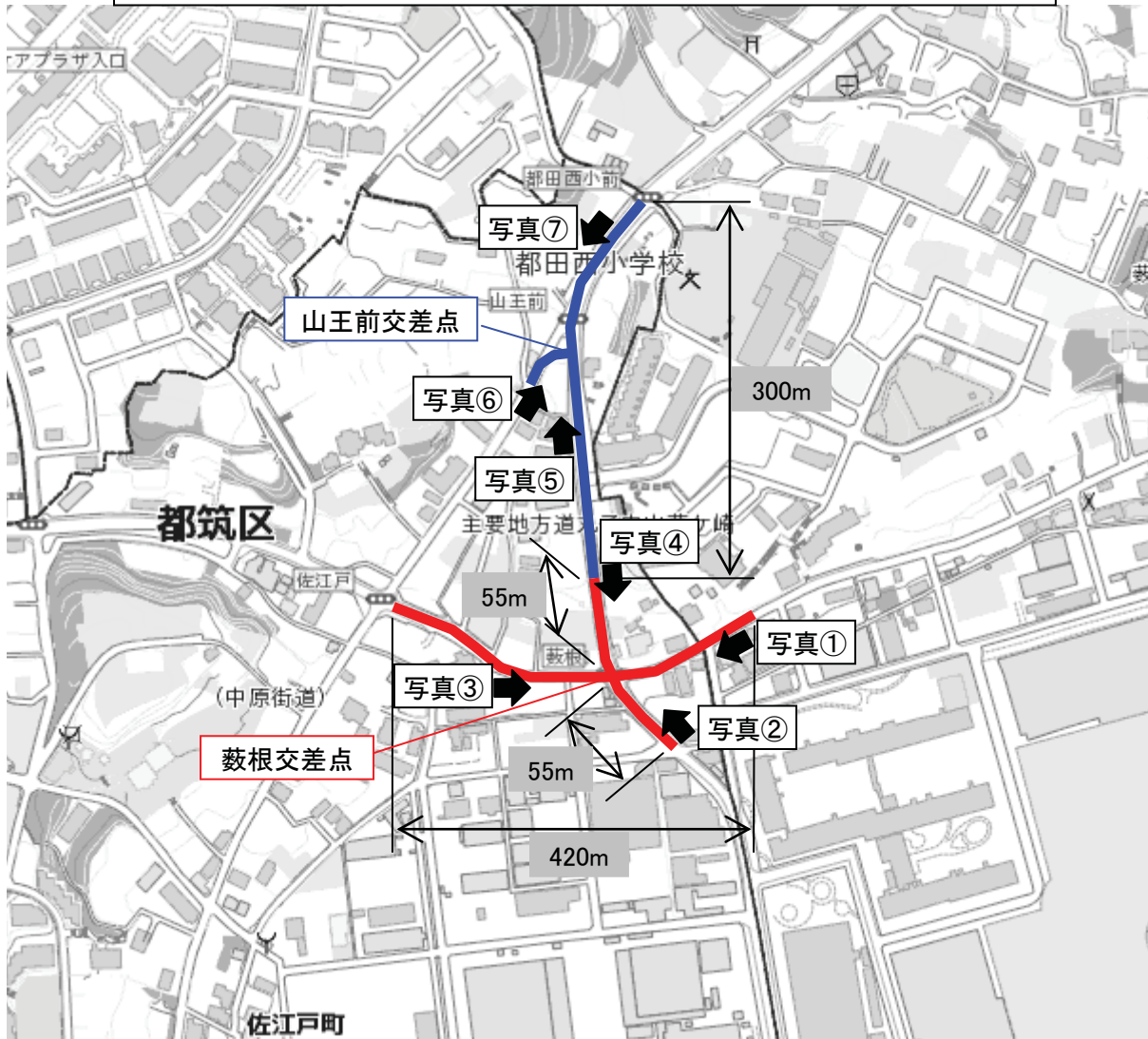
標準断面
主要地方道横浜上麻生(佐江戸その2地区)



標準断面
市道川和第170号線外(山王前地区)

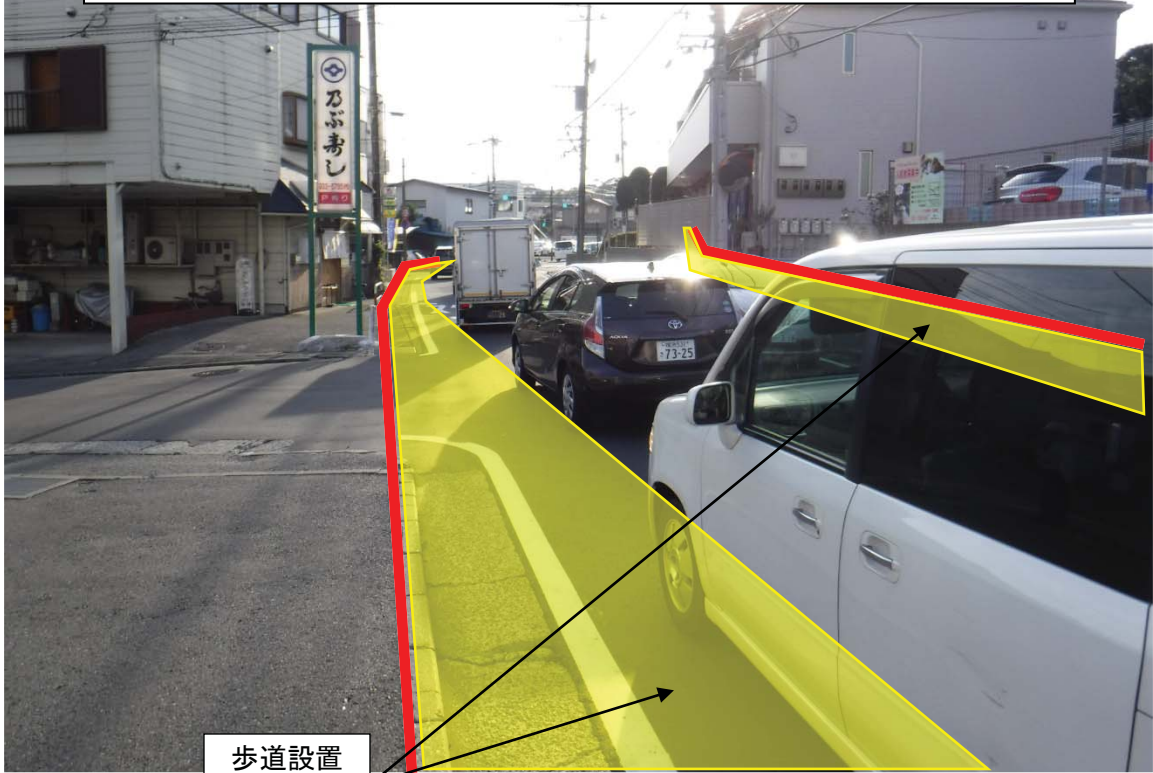


主要地方道横浜上麻生(佐江戸その2地区)・
市道川和第 170 号線 外(山王前地区) 写真位置図



事業区間	
主要地方道横浜上麻生(佐江戸その2地区)	—
市道川和第 170 号線 外(山王前地区)	—

写真① 主要地方道横浜上麻生(佐江戸その2地区)



歩道設置
予定箇所

写真② 主要地方道横浜上麻生(佐江戸その2地区)



歩道設置
予定箇所

写真③ 主要地方道横浜上麻生(佐江戸その2地区)



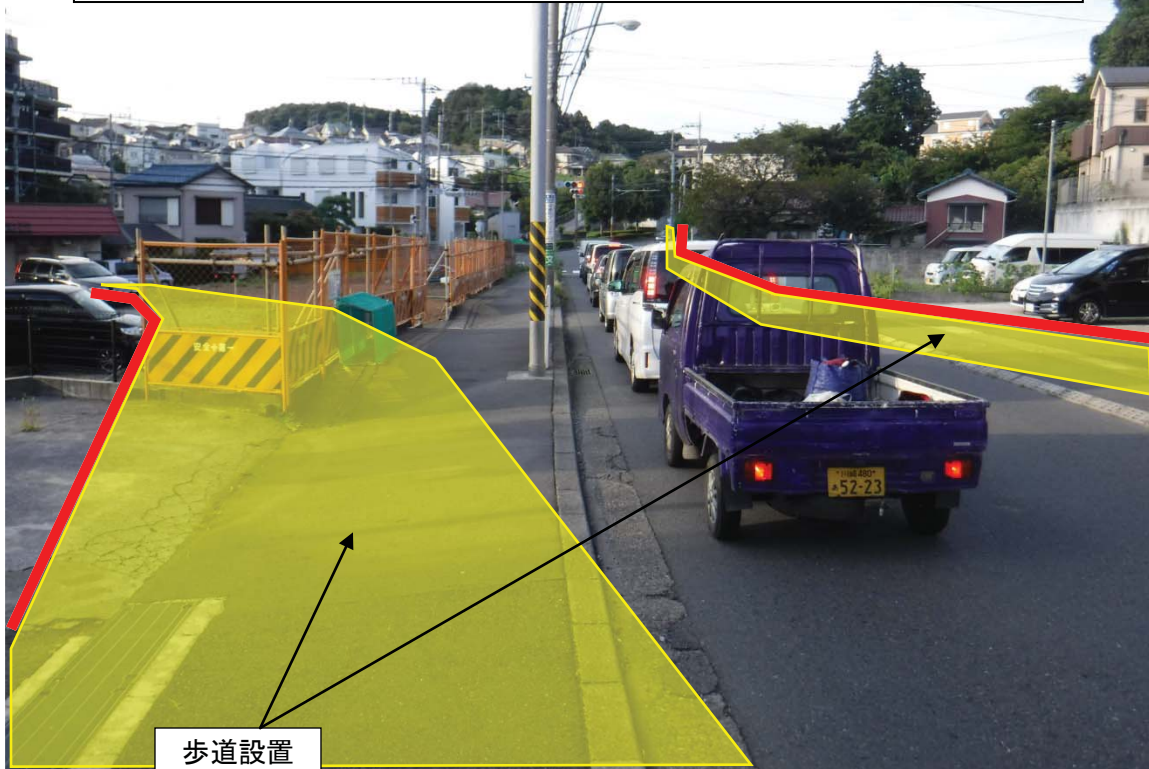
歩道設置
予定箇所

写真④ 主要地方道横浜上麻生(佐江戸その2地区)



歩道設置
予定箇所

写真⑤ 市道川和第 170 号線 外(山王前地区)



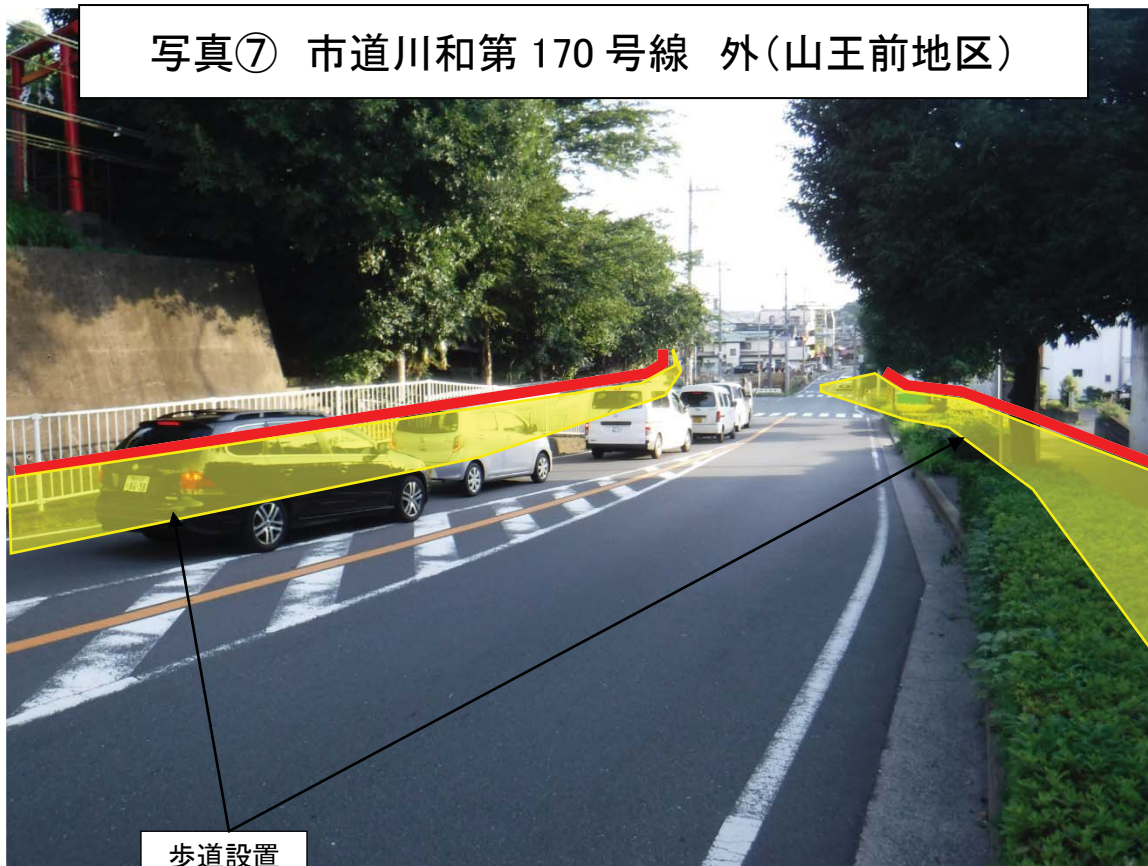
歩道設置
予定箇所

写真⑥ 市道川和第 170 号線 外(山王前地区)



歩道設置
予定箇所

写真⑦ 市道川和第 170 号線 外(山王前地区)



歩道設置
予定箇所

前回再評価内容との比較

	前回 (H24)	今回 (H29)	5年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>近年、この地区は工場移転に伴う開発などが進み、2007年に大型商業施設の「ららぽーと横浜」、2008年に市営地下鉄「川和町駅」が整備されています。</p> <p>また、今年度から高速横浜環状北西線が事業化され、今後一層の開発が見込まれます。よって、さらに地元から歩道設置による歩行者の安全確保が強く望まれています。</p>	<p>横浜環状北西線が、東京2020オリンピック・パラリンピックまでの開通を目指して建設されており、今後一層の開発が見込まれる中で、歩道設置による歩行者の安全性の確保が地元から強く求められています。</p>	<p>工場移転に伴う開発などが進み、平成19年に大型商業施設「ららぽーと横浜」が開業し、平成20年に市営地下鉄川和町駅が整備され、人口が増加しています。</p>
事業進捗率	42%	47%	+5%
用地取得率	45%	52%	+7%
供用等の状況	92m供用中	92m供用中	0m
事業の進捗見込	<p>用地の境界確定や公図形状訂正などに時間を要していましたが、用地の取得により拡幅整備を行い、整備効果が現れています。</p> <p>また、関係する地権者の方との交渉に時間を要していますが、川和第170号線を重点的に用地取得を進めており、残る神社の用地整理に目途がつくことから、区間を連続して工事することにより、関係する地権者の方の事業に対する理解が得られると考え、平成29年度の完成を目指します。</p>	<p>平成29年に主要地方道横浜上麻生（佐江戸その2地区）の用地取得を行い、平成30年に山王前交差点の線形改良・歩道拡幅工事を予定しています。平成30年までに用地取得を終え、平成31年度までに工事完了予定です。</p>	<p>地元やスクールゾーン・防犯対策協議会から通学路の安全対策として歩道設置・歩道拡幅が強く要望されており、取得した用地については暫定的に歩道を設置・拡幅整備しています。</p>

主要地方道横浜上麻生(佐江戸その2地区)・
市道川和第170号線 外(山王前地区) 用地取得状況図

